

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
経商基礎演習 (53 期～)	田添 篤史	講義	2		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	2 年次で参加する演習で必要となる、経済学からの社会の捉え方の基礎を学ぶ。文献のまとめ方、発表の方法、論文の執筆方法などを習得し、演習へとスムーズに移行できるようになることを目的とする。						
到達目標	① 現在の経済がどのような課題に直面しているかについて、自分の意見を持つことができる。 ② 文献のまとめ方、発表の方法を習得する。 ③ 論文をどのように書けば良いかについて理解する。						
回	学習内容						
1	基礎演習の目標および評価方法の説明						
2	論文はどのようにして書けば良いのか						
3	論文の構造と各論の展開について						
4	参考文献の探し方と引用の方法						
5	発表の方法						
6	統計データの探し方						
7	経済学はどのように社会を理解しようとしてきたか						
8	グラフの作成方法とその解釈の仕方						
9	マクロ経済をどのように測定するか						
10	経済格差の問題とその対処						
11	経済成長はなぜ発生するのか						
12	格差は経済成長に影響を与えるのか						
13	制度が経済成長に及ぼす影響						
14	経済の状態と政治						
15	経済成長と民主主義						
予習内容 復習内容	予習：授業中に指定した文献について事前に読んでおくこと。 復習：基礎演習で行ったディスカッションについて振り返ること。						
教科書	受講者と相談のうえで決定する。						
成績評価	ディスカッションへの参加態度：100%						
実務経験							
その他 特記事項							